



ご参加をお待ちしています。

- 研修会場:会場の記載がない研修会は住友生命熊本ビル3階会議室(熊本市中央区花畑町9-24)です。
- 参加費:すべて“無料”です。
- お申し込み方法:FAX、メール、電話(※)でのお申し込みを受け付けます。

当センター研修会のお申し込みは、以下のいずれかよりお申し込み下さい。  
・ホームページ <https://www.kumamotos.johas.go.jp/FormMail/session/index.php>  
・TEL:096-353-5480/FAX:096-359-6506

※電話でのお申し込みの方は、後日申込書(ホームページから[研修会のご案内]  
[参加申込フォーム])の送付(送信)をお願いします。

※(研修会ご参加時の留意事項について)必ずご一読ください。  
<https://kumamotos.johas.go.jp/documents/caution.pdf>

---

<<■■■■■令和元年9月の予定■■■■■>>

---

日 時:9月6日(金)14:00~16:00  
研修テーマ:職場におけるがん、循環器疾患、糖尿病、COPD【非感染性疾患(NCD)】の予防について  
内 容:健康日本21では、主要な生活習慣病をNCD(non-communicable disease:非感染性疾患)対策という枠組みでとらえ、取り組むべき必要な対策を示している。国内外の報告をもとに考える。  
講 師:大森久光

---

日 時:9月19日(木)14:00~16:00  
研修テーマ:「労働衛生工学」とは何か(入門編)  
内 容:労働衛生管理体制に於ける「労働衛生工学」の役割について  
講 師:石原徳一

---

日 時:9月27日(金)18:30~20:30  
会 場:八代市医師会 会議室  
研修テーマ:粉じん・石綿ばく露防止対策  
内 容:粉じんにさらされる労働者の健康障害を防止するため、設備、作業方法、保護具の使用及び管理などを労働衛生管理の観点から学びます。また、石綿ばく露防止についても事前調査、ばく露防止措置、管理の問題点など紹介します。  
講 師:土山洋之

---

<<■■■■■令和元年10月の予定■■■■■>>

---

日 時:10月11日(金)14:00~16:00 定員に達しました  
研修テーマ:動機づけ面接法研修 ~あなたの「共感」でクライアントは自ら変わる~  
内容:動機づけ面接法は、“変わりたい”でも“変わりたくない”といった両価的な状態の方に対して行う面接法です。特に、行動変容を促す対人援助職の方が身につける世界スタンダードの技術でとても学びやすいカウンセリング技術です。  
講 師:尾池千賀子

---

日 時:10月23日(水)14:00~16:00  
会 場:熊本労災病院会議室  
研修テーマ:イキイキした職場環境づくり ~これからはじめる職場環境改善~  
内 容:スライドを利用した講義 グループワーク、グループ発表  
講 師:東本君子

---

日 時:10月24日(木)14:00~16:00

研修テーマ:アサーション技法を使ったスムーズなコミュニケーションについて  
内 容:風通しの良い職場環境のためにアサーション技法を使ってコミュニケーション技  
法を学ぶ  
講 師:森田裕子

---

熊本産業保健総合支援センターから『産業保健に関する質問募集』のお知らせ！

---

会社の衛生管理の担当者に選任されたが、衛生管理活動をどう進めたらいいか、社内でメンタルヘルス対策を進めたいがどう対応したらいいのかわからない等といったことでお悩みではありませんか。当センターでは、メンタルヘルスや健康管理など産業保健に関する様々な問題について、専門スタッフがご相談に応じ、解決方法を助言します。今お悩みのこと、疑問に思っていることがありましたら以下のいずれかの方法でご相談下さい。相談はすべて無料です。相談により知り得た情報等は厳守します。

- ・ホームページ:<https://www.kumamotos.johas.go.jp/FormMail/soudan/index.php>
- ・メール:[ksanpo43@kumamotos.johas.go.jp](mailto:ksanpo43@kumamotos.johas.go.jp)
- ・FAX:096-359-6506/TEL:096-353-5480

尚、電話、FAX、メール等ご希望の方法で、必ず回答いたします。  
回答先及び回答方法は以下の通りです。

- ・ご希望回答方法(電話・FAX・メール・郵便)
- ・住所等
- ・会社名
- ・担当者名
- ・電話番号
- ・FAX番号
- ・メールアドレス
- ・メルマガ配信希望(メールアドレス)

◇ 

---

 いろいろなお知らせ

---

◆研修会・セミナー・説明会

(1)平成31年度石綿(アスベスト)関連疾患診断技術研修会のお知らせ  
このたび、医師、産業医、放射線技師等の医療関係者に対して、石綿(アスベスト)関連疾患の診断技術の向上を図ることを目的に、下記のとおり開催することとしました。

「石綿(アスベスト)関連疾患診断技術研修会」

1. 開催日時 令和元年10月6日(日)  
(講義研修) 13:00~15:00 【生涯研修:専門 2単位】  
(読影実習研修) 15:00~17:00 【生涯研修:実地 2単位】

※本研修会は、日本医師会認定産業医制度における産業医研修会として申請しており、受講された方は、(講義研修)は生涯研修【専門研修2単位】(読影実習研修)は生涯研修【実地研修2単位】の単位を取得できるようになります。

2. 開催場所 熊本市国際交流会館 研修室1  
(熊本市中央区花畑町4号18番地 TEL:096-359-2020)
3. 研修対象者 医師、産業医、放射線技師等

4. 研修内容 (講義研修)  
アスベスト関連疾患の診断と臨床について  
アスベスト関連疾患の労災補償制度について  
職場におけるアスベストばく露の形態と具体例について  
(読影実習研修)  
石綿(アスベスト)関連疾患の胸部画像の読影実習
5. 講師 ・独立行政法人労働者健康安全機構  
千葉労災病院アスベスト疾患センター長 由佐 俊和  
・横須賀市立うわまち病院 呼吸器科 科長 上原 隆志
6. 定員 24名(定員に達ししだい締め切りとします)

<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20190731165706.html>

## (2) リワーク支援説明会のご案内

リワークとは「復職」のReturn to work を意味します。うつ病などにより、休職されている社員の方に対し、各種プログラムの受講を通して、復職に向けたウォーミングアップの取組みを進めていただけるようにするとともに、事業所の方に対しては、復職に係る専門的な助言や援助を行うことにより、円滑に復職できるように支援を熊本県障害者職業センターでは行っています。

なお、支援のご利用にあたっては、休職されている社員の方、職場復帰予定の事業所、主治医の3者からリワーク支援の実施について合意を得ることが必要になります。

[http://www.jeed.or.jp/location/chiiki/kumamoto/43\\_kumamoto\\_service2.html](http://www.jeed.or.jp/location/chiiki/kumamoto/43_kumamoto_service2.html)

## (3) 令和元年度両立支援コーディネーター応用研修について

令和元年度両立支援コーディネーター応用研修が開催されます。

### 1. 神奈川会場

10月15日(火) 13:00~17:30  
労働者健康安全機構 大会議室

### 2. 大阪会場

11月18日(月) 13:00~17:30  
A P大阪梅田茶屋町

1. 2. 会場とも定員50名、受付期間9月9日(月)13:00~9月13日(金)17:00

※詳細、受付は下記リンクをご覧ください。

<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20190820143221.html>

## ◆ 当センター及び機構本部からのお知らせ

### (1) 令和元年度 産業保健関係助成金について

令和元年度産業保健関係助成金について、掲載しました。

職場環境改善助成金については、7月1日から新しく変わります。

詳細は、ホームページからご確認ください。

<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20190527164206.html>

### (2) 産業保健総合支援センターの取組みについてご紹介します。

産業保健総合支援センターの取組みについて紹介動画を作成いたしました。

産業保健総合支援センターを「のんさん」が紹介します!

<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20190409163000.html>

- (3) サラリーマン金太郎が「治療と仕事の両立支援」に取り組みます！  
もしも「サラリーマン金太郎」が中小企業の社長だったら…  
当機構と「サラリーマン金太郎」特別コラボマンガ掲載中  
治療と仕事の両立支援について、サラリーマン金太郎が取り組みます！  
<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20190507151835.html>
- (4) 研修教材「これからはじめる職場環境改善～スタートのための手引～」  
<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20181206153805.html>
- (5) 【ストレスチェック制度】高ストレス者に対する面接指導視聴覚教材掲載  
<https://www.kumamotos.johas.go.jp/documents/H30/johas20180514.html>
- (6) 治療と仕事の両立支援ポータルサイト公開  
独立行政法人 労働者健康安全機構では、「治療と仕事の両立支援ポータルサイト」をこのたび開設しました。支援制度や事例、様式集、法令制度や全国の研修情報など多種にわたる情報を提供しております。  
[https://www.kumamotos.johas.go.jp/ryouritsu/ryouritsu\\_topix.htm](https://www.kumamotos.johas.go.jp/ryouritsu/ryouritsu_topix.htm)
- (7) 地域産業保健センターのご案内（全て無料です）  
<https://kumamotos.johas.go.jp/chiiki.htm>
- ・阿蘇地域産業保健センター  
Tel 0967-34-1177 Fax 0967-34-1619
  - ・有明地域産業保健センター  
Tel 0968-72-3050 Fax 0968-72-3930
  - ・天草地域産業保健センター  
Tel 0969-25-1236 Fax 0969-24-4126
  - ・菊池鹿本地域産業保健センター  
Tel 0968-23-1210 Fax 0968-23-1211
  - ・熊本地域産業保健センター  
Tel 096-366-2711 Fax 096-366-2750
  - ・人吉球磨地域産業保健センター  
Tel 0966-22-3059 Fax 0966-22-3059
  - ・八代水俣地域産業保健センター  
Tel 0965-39-9531 Fax 0965-39-9532
- (8) 新入社員や20代の若手職員を対象とした「メンタルヘルス対策教育研修」  
新入社員や若手職員など、仕事をしていく上で大きな負荷を抱えやすい若年労働者・新入社員に対してセルフケアを促進するための教育を無料で支援を実施しております。  
<https://kumamotos.johas.go.jp/shien/index.html>
- (9) 医療情報サイト「メディカルノート」における両立支援特集ページ掲載  
病気と向き合いながら仕事を続けたい方をサポートする
- 当機構における両立支援の取組について、医療情報サイト「医師・病院と患者をつなぐ医療検索サイト メディカルノート」に特集記事が掲載されました。  
各産業保健総合支援センター・労災病院においての両立支援の活動・取組、両立支援コーディネーターについてインタビュー形式で読みやすいので、ぜひご覧ください。
- 熊本では、熊本労災病院で実際に心不全の治療を受けながら、仕事に取り組む職員の実例の例をもとに両立支援のポイントを解説しております。
- <https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20190717130942.html>

## ◆労災疾病等医学研究普及サイトのご案内

『就労支援と性差（平成26年度～29年度）』  
女性の社会進出は年々進みつつあります。しかし、女性は子宮内膜症や卵巣嚢腫、乳がんといった女性特有の疾患や女性ホルモンの低下に関連して起こりやすい健康問題等、男性とは異なった健康面の問題を抱えております。  
この研究は、働く女性がそういった健康面の問題と上手に付き合いつつ、就労を続けられる方法を確立することを目的として行われました。

（研究概要）<http://www.research.johas.go.jp/shurou/index.html>

以下4つのテーマから女性の抱える健康問題へアプローチを行い、女性の就労を支援する方法について研究しました。

- ① 内分泌環境からみた女性労働者の健康管理研究
- ② 夜間労働が女性の健康に及ぼす影響の研究
- ③ 副腎皮質ホルモンを指標とした女性の健康管理
- ④ 勤務条件・職種が女性の健康に及ぼす影響についての研究

4つのテーマに係る研究結果は下記のURLから御参照いただけます。興味・関心をもたれた方はぜひ御一読ください。

（研究結果）①～③ <http://www.research.johas.go.jp/shurou/thema01.html>  
④ <http://www.research.johas.go.jp/shurou/thema02.html>

「振動障害」の研究について  
振動障害と糖尿病の関係は御存知ですか？  
産業界で使用されているハンドブレイカーやインパクトレンチなどの手持振動工具は、長時間の使用により様々な振動障害を発症させることがあります。  
一方、糖尿病は日本人の食生活の欧米化を背景に、有病者とその予備群はいずれも約1,000万人と推計されています。  
両者は末梢神経障害、血管障害という点で類似した病態を呈することから、診断の際には鑑別が必要です。  
この研究では、末梢神経障害の評価に関する検査法として、振動覚閾(しきい)値、電流知覚閾(しきい)値検査を行い、対照群、糖尿病群、振動障害群のデータを用いて、振動障害と糖尿病の鑑別診断における考察を行いました。研究概要や結果はこちらになります。

[http://www.research.johas.go.jp/22\\_sindou/thema05.html](http://www.research.johas.go.jp/22_sindou/thema05.html)  
[http://www.research.johas.go.jp/booklet/pdf/2nd\\_digest/06.pdf](http://www.research.johas.go.jp/booklet/pdf/2nd_digest/06.pdf)

いずれの検査も末梢神経障害の鑑別診断や病態解明に有効であることが示唆されました。

## ◇----- 主な行政の動き

### 【厚生労働省】

(1) 第1回「人生100年時代に向けた高年齢労働者の安全と健康に関する有識者会議  
「有識者会議開催の趣旨及び進め方」、「高年齢労働者の安全と健康に関する現状」、「事例紹介等」などについて検討されました。

<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20190809150328.html>

(2) 「副業・兼業の場合の労働時間管理の在り方に関する検討会」の報告書を公開  
厚生労働省の「副業・兼業の場合の労働時間管理の在り方に関する検討会」  
(座長：守島基博 学習院大学経済学部経営学科教授)は、このたび、副業・兼業の場合  
の労働時間管理の在り方に関する報告書をまとめられ、公表されました。

<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20190816143605.html>

(3) 平成30年労働安全衛生調査(実態調査)結果を公表  
厚生労働省から、「平成30年労働安全衛生調査(実態調査)」の結果を取りまと  
められ、公表されました。  
事業所が行っている安全衛生管理、労働災害防止活動及び安全衛生教育の実施  
状況等の実態並びにそこで働く労働者の仕事や職業生活における不安やストレス、  
受動喫煙等の実態について把握し、労働安全衛生行政施策を推進するための基礎  
資料とすることを目的とした調査です。

<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20190823083830.html>

(4) 令和元年度自殺予防週間の主な取組みについて  
自殺対策基本法第7条第2項及び第3項において、9月10日から9月16日を  
自殺予防週間と位置付けており、啓発活動を広く展開するものとし、それにふさ  
わしい事業を実施するよう努めるものと規定されています。  
厚生労働省では、令和元年度「自殺予防週間」に合わせて関係省庁、地方自治体、  
関係団体等の方々が実施する各種の取組みについて、公表されました。

<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20190828151844.html>

(5) 「職場の健康診断実施強化月間」の実施について  
労働安全衛生法(昭和47年法律第57号。以下「法」という。)に基づく定期  
健康診断等については、統計調査の結果等をみると、小規模事業場においては実  
施率が低調であり、また、健康診断の結果についての医師の意見聴取及びその意  
見を勧告した就業上の措置(以下「事後措置等」という。)の実施率が非常に低  
調であること等を踏まえ、法に基づく健康診断および事後措置等の実施を改めて  
徹底するため、平成25年度より全国労働衛生週間準備月間である9月を「職場の  
健康診断実施強化月間」(以下「強化月間」という。)と位置づけ、熊本労働局  
では集中的・重点的な指導が行われているところです。

<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20190905141350.html>

(6) 情報機器作業における労働衛生管理のためのガイドラインについて  
パーソナルコンピュータ等情報機器を使用して行う作業における労働衛生  
管理については、「VDT作業における労働衛生管理のためのガイドライン」(平成14年  
4月5日付け基発第0405001号)によってきたところですが、今般  
当該ガイドラインを見直し、新たに「情報機器作業における労働衛生管理のため  
のガイドライン」を策定されました。

<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20190905182205.html>

【熊本労働局・熊本産業保健総合支援センター】

(1) 『令和元年度 熊本における労働衛生の現状』を掲載しました。

ー口ポイント：熊本県内の定期健康診断の有所見率は全国平均55.5%に比べ2.4%高く57.9%であり、前年の56.9%よりも高くなっております。

<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20190904202911.html>

---

## コラム【事業場におけるCKD対策】

---

先日、熊本市CKD対策推進会議が開催されました。CKD（慢性腎臓病）は（尿の異常がある・eGFR60未満のいずれか、または両方が3か月以上継続する場合）、進行すると透析導入につながる恐れがあります。H21は熊本市の人工透析導入者数は人口比で全国平均の1.47倍と最も多い状態でしたが、「かかりつけ医と腎臓専門医の連携システムの構築」や「かかりつけ医と栄養士の栄養連携システム」など、各種関係機関の取組みもあり、現在の透析導入率もほぼ全国平均まで低下してきました。

そういった中、「腎移植」が普及してきています。腎移植の方が、生存率も長く、またQOL、長期的に見た時の経済的損失（腎移植から2年すると移植の方の医療コストが低くなる）などから、腎移植がさらに普及することが望まれますが、日本はいまだに透析率が世界一ということ。また腎移植については、日本は生体腎移植の方が多く、ドナーの負担を考えると献体腎移植をさらに増やすことが必要です。腎移植の待機年数の平均が16年ということですから、ドナー登録も工夫が必要ではないかと思われま。

透析導入の原因疾患については、以前は慢性糸球体腎炎がトップでしたが、現在は「糖尿病性腎症」がすごい勢いで増えています。また最近のデータでは65歳未満の透析導入が増加していることを考えると、若年者からの糖尿病に対するさらなる対策は必要です。

こういった中、検尿で専門医への紹介基準も以前は「蛋白2+」でしたが、「蛋白1+」以上となり、さらに厳しくなりました。蛋白尿があると、おしっこに泡が立ちやすくなります。しかし、もうこの時点ではすでに進行している可能性があります。

企業としては、労働者へのCKDに対する知識の普及、健康診断結果で精密検査の対象の労働者には、必ず受診させるような対策が必要です。

---

=====  
●次回の第145号は令和元年10月1日に配信予定です。

編集内容等に関するご意見・お問合せなどをお寄せください。  
またメールアドレスの変更の場合は件名に[メルマガアドレス変更希望]、  
配信停止希望の場合は、[メルマガ配信停止希望]等ご記入の上  
[ksanpo43@kumamotos.johas.go.jp](mailto:ksanpo43@kumamotos.johas.go.jp)へお願いします。

\*\*\*\*\*  
独立行政法人 労働者健康安全機構 熊本産業保健総合支援センター  
〒860-0806 熊本市中央区花畑町9-24 住友生命熊本ビル3階  
TEL:096-353-5480 FAX:096-359-6506  
<https://www.kumamotos.johas.go.jp/>  
E-Mail:[ksanpo43@kumamotos.johas.go.jp](mailto:ksanpo43@kumamotos.johas.go.jp)  
\*\*\*\*\*